



【ホームページ運営中!】
<https://kyoto-fukudenji.com/>



“ 本来の心 ”

～今月のおことば～

努力めて迷を翻して、本家に還れ - 善導大師

厳しい寒さも随分と和らいできました。鳥のさえずりが春の到来を知らせているかのようです。今年の春のお彼岸は3月18日～24日(21日が中日)までの期間です。まもなく新年度、お彼岸は“仏教実践習慣”という意味合いもあり、自らを見つめ直す良い機会かもしれません。

唐の善導大師の『往生礼讃』に「努力めて迷を翻して、本家に還れ」という一節があります。ここでいう迷いとは、“自分自身や事物に執着する心”、“あれこれと人や物を比べる差別の心”のことです。このような迷いの心をひるがえして、自身の本来の心である「清浄な心」に還るよこと説かれたのです。仏教では私たちには等しく仏の種が植わっており、心の根源は清浄であるとされています。しかし、私たちの迷える心をもって、私たちの本来の心、清浄心に気づくことは果たしてできるのでしょうか。凡夫である私たちには叶うものではありません。そこで善導大師や宗祖一遍上人が勧められているのが称名念仏です。名号「南無阿弥陀仏」という絶対的な存在に心身をお任せ、本来の心を観る道を説かれました。名号とは物事の真理を映し出す“鏡”のようなものだからです。この名号の姿を一遍上人は「水が水を飲み、火が火を焼くようであり、また、松は松、竹は竹であるように、他の何物にもとらわれず、それ自身がそれであるという在り方で、生も死もない」と表現されています。阿弥陀仏の本願に帰依さえすれば、生死の海にさまよう私たちも、生死のない自己本来の在り方に帰ることができるのです。

さて、少し小難しくなったので詩を一つ引用させていただきます。

「アナタの主人公はアナタなんだよなあ」 (相田みつを)

自分や他者をありのままに見ることが重要であると気づかせてくれる詩であると思います。お念仏、そして先祖様に改めて感謝し、スツとした気持ちで新年度を迎えることができれば、最上のお彼岸ではないでしょうか。 合掌



シンチヨウゲ

京都国史博物館 特別展・記念講演のご案内 ……………

3月22日(金) 午後2時より
 春季彼岸会法要を本堂にて行います。ぜひご参詣ください。

- 以前ご案内したとおり、京都国立博物館での御遠忌特別展「国宝
- 一遍聖絵と時宗の名宝」(会期: 4/13～6/9)に、当寺の御本尊が
- 後期展示として出陳されます(5/14～6/9)。また、4/28(日)に記念講
- 演として「踊躍念仏(踊り念仏)」の披露が決定しました(12時整理
- 券配布、13時半開演)。私副住職もお役を頂戴し出演いたします。
- 特別展と併せましてご高覧いただければ幸いです。

～本山団体参拝の御案内～

本年迎える時宗二祖真教上人の七百年御遠忌を記念し、京都教区寺院合同での本山参拝が企画されました。このまたとない機会にぜひご参加ください。

- 日時: 平成31年5月26日(日)～28日(火) (2泊3日、本山参拝は27日)
 - 行程: 京都駅→熱田神宮・円福寺→焼津(宿泊)→総本山遊行寺→湯河原(宿泊)→箱根→京都駅
 - 費用: お一人様4万5千円(本山での回向料は、別途一霊5千円) *食事代等は全て含みます
 - 記念品: 輪袈裟、記念写真、本山土産数点
- * 貸切バスでの移動となります。ご参加を希望の方にはお申込み用紙並びに詳細をお渡しいたします。